

かわにし

議会だより

第145号
2021
4.15



川西町議会H.P
QRコード

今日から 一緒に

小松小学校入学式 P26に関連記事

地域の宝 置賜農高農業クラブ	… 2
政策検証 厳しい評価	… 6
予算案否決 庁舎跡地計画に待った	… 8
9人が町政をただす	… 16
がんばる川西 チーム白猿	… 32

シリーズ
広聴
町が大好き
5

国と地方が対等であるとした地方分権改革が進み、地方自治体の首長、議会は住民の意見を十分に聞き、政策に反映させることが求められている。

議会では議会基本条例の定めにより、毎年各地区に出向き、住民との意見交換会を実施し、それらの意見を踏まえて、町長に対して政策提言を行っている。

議会ではさらに、各種団体等との意見交換にも取り組んでいる。今回は、「シリーズ広聴町が大好き」第5弾として県立置賜農業高等学校農業クラブの皆さんに登場して頂いた。

祝 お米甲子園
最高金賞受賞!
Japan GAP認定取得も
地域の宝
県立置賜農業高等学校
農業クラブ



校是「質実剛健、誠実明朗、実践奉仕」を体現する置賜農高の皆さん



ソーシャルディスタンスで意見交換

川西町と、山形県立置賜農業高等学校は、相互の発展に資するため、資源および研究成果等の交流を促進し、産業、教育、文化の分野等で協力していくための協定を結んでいる。(平成27年3月23日付)

(1) 地域産業の振興、人材の育成に関すること
(2) 6次産業化の推進に関すること
(3) 地域文化の振興に関すること

川西町と、山形県立置賜農業高等学校との連携に関する協定書では、

関すること
(4) プロジェクト研究に関すること
(5) 施設の利用に関すること
(6) その他、両者が必要と認める事項

以上、包括的な内容で、置賜農業高等学校との連携および活動支援を行うというものである。昨年度の数々の受賞をはじめ、農業や6次産業、まちづくりにチャレンジされていることに敬意を表する。

置賜農業高校生と
広聴広報常任委員会
との意見交換会
出席者名簿

- 《広聴広報 常任委員会》
- 伊藤 寿郎 委員長
 - 遠藤 明子 副委員長
 - 橋本 欣一 委員
 - 伊藤 進 委員
 - 渡部 秀一 委員
 - 井上 晃一 委員

- 《生物生産科》
- 角田 智貴 3年
- 島貫 裕基 2年
- 加藤 幸太 2年
- 豊田 茉奈 2年
- 《園芸福祉科》
- 島津 遥 2年
- 島貫 真美 2年
- 《食料環境科》
- 高野 瑚々亜 2年
- 高橋 小雪 2年
- 《引率の先生》
- 横山 伸一
- 齋藤 曜介

農業クラブ 栄光と輝き (令和2年度)

- ◆山形県学校農業クラブ連盟 (プロジェクト発表)
 - ◎分野Ⅰ類
 - 優秀 「JGAP認証への取り組み」 生物生産科
 - ◎分野Ⅱ類
 - 優秀 「空気浄化スーパー植物『ニオイ木』の開発・保全・創造に関する研究」 園芸福祉科
 - ◎分野Ⅲ類
 - 最優秀 「伝統の食文化むくり鮎継承プロジェクト～里山の地域資源を守る、広める～」 食料環境科
 - ◆その他の大会
 - 最高金賞 第11回全国農業高校お米甲子園 生物生産科
 - 優秀賞 第4回高校生科学教育大賞 園芸福祉科
 - 米沢警察署長表彰
 - 花いっぱいプロジェクト 園芸福祉科
 - 川西ダリヤ園マイガーデンコンテスト 園芸福祉科
 - 郷土Yamagataふるさと探求コンテスト 食料環境科
 - 毎日新聞山形支局長賞
 - 毎日農業記録賞 生物生産科・園芸福祉科
 - ◆認証取得 Japan GAP認定取得 生物生産科



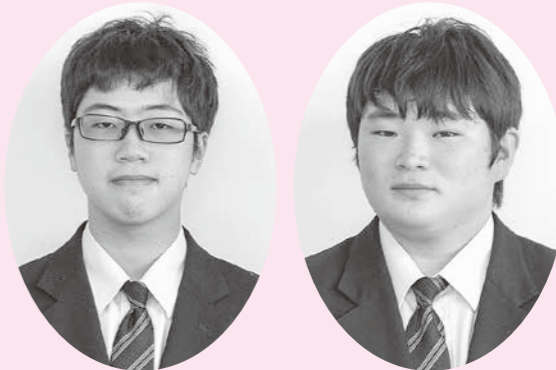
あいがも有機栽培米 = 最高金賞



「ニオイ木」鉢上げ



「むくり鮎」プロジェクト発表



島貴 裕基さん 角田 智貴さん

米最高金賞

こんなことをしています

—現在どのような活動をされているかお聞かせください。

角田 安全・安心で高品質なお米づくりを学んできました。

有機栽培のアイガモ農法を取り入れました。

島貴 農薬を使わないので田んぼの除草に苦労しました。夏

場の草刈りも大変です。

島津 冬咲ダリアの研究をしています。

ブランド（品種名16才）生育調査やハウス内の病気や虫や菌の除去が大変。川西ダリアをもっと有名にしていきたいです。

島貴 シクラメンの栽培・管理と販売をしています。ハウスの中の虫が大変です。

加藤 夕方の給餌や搾乳の管理・飼育を頑張っています。

豊田 コロナ禍で全国大会が延期になって残念ですが、餌の配合を研究し、和牛コンテストに向け頑張っています。牛は可愛いですよ。名前も付けてみたいですね。

高野 豆ガールプロジェクトとして紅大豆の特産品開発や色々な場所で販売など行っています。

伊藤 地産地消の取り組みとPRがもっと必要ですね。

高橋 焼き菓子を作ったり、紅大豆の伝統継承に力を入れます。子ども食堂に参画したり、高齢者との話しの場に出向いたりもします。山形の魅力づくりも発信しています。

魅力度をアップさせるために

角田 こまつ市や森のマルシェでの出店に力を入れています。

島津 ダリヤ園とのタイアップに期待したいです。また、関東の方とダリアの研究で、リモート会議の模様をユーチューブで発信しています。

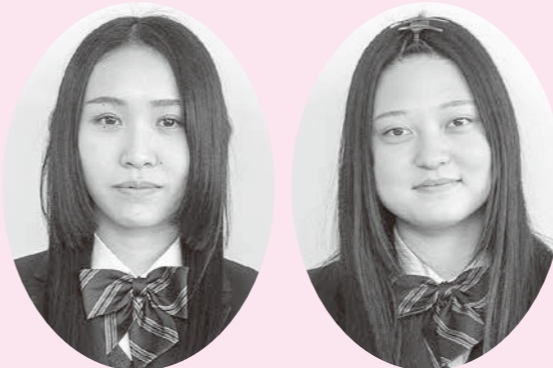
高野 山形駅へ販売に行っています。県外へのPRと販売で町の魅力を発信していきたいです。

橋本 自信を持って発信して欲しい。

島貴 置農ファンクラブの充実を図り、学校の魅力を町内外に発信したいです。

伊藤 コロナ禍で活動が大変ですが、森のマルシェ等のイベントに期待したいと思っています。

高野 山形駅へ販売に行っています。県外へのPRと販売で町の魅力を発信していきたいです。



島津 遥さん 島貴 真美さん

冬咲ダリア

高橋 送迎が大変なのでスクールバスがあったらいいですね。

遠藤 みなさんのご意見委員長 見を町や県、国へ繋げていきたいです。

私の描く将来の夢

角田 私の家は農家で業に就職します。将来についてはまだこれからです。

島貴 インターネットです。製造業に行きたいです。町で製造業を視野に入れ考えていきたいです。

高野 美容師に向けて東京へ行っています。

高橋 地域貢献や町づくりなどの勉強をしてから県内に戻りたい。川西町の活性化に向け頑張りたいです。

—その他、話したいことはありますか

豊田 町や県でも置賜農高のPRをして欲しいです。

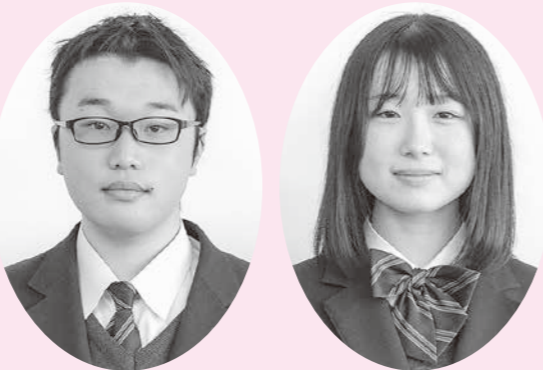
加藤 学校の暖房が少ない。寒い。

島津 電車の本数が少ないので増えればいい。楽しめる場所が欲しい。

高野 消雪で歩道が歩きにくいです。

高橋 姉妹高との交流活動を支援して欲しいです。

などたくさんのご意見をいただき有意義な意見交換会となりました。学校の元気は地域の元気となり、町の活性化と大きな力につながります。今後の活躍に期待しています。



加藤 幸太さん 豊田 茉奈さん

チャンピオン牛(牛部)

豊田 学校体験学習があったら志願者が増えると思う。

高橋 可愛い制服にして欲しい。

町に期待する声

角田 若い人から高齢者みんなが立ち寄れるカフェがあったらいいですね。

島貴 ワイワイ集まる場所が欲しいです。

です。

島貴 Wifi環境が充実すれば良いと思います。みんな町を良くしていきたいです。

加藤 自然豊かな町だからレクリエーション施設があったらいいですね。

高野 駅から学校までの歩道整備をお願いします。



高橋 小雪さん 高野 瑚々亜さん

豆ガールズ

シリーズ 広聴 町が大好き 5

学校の元気は

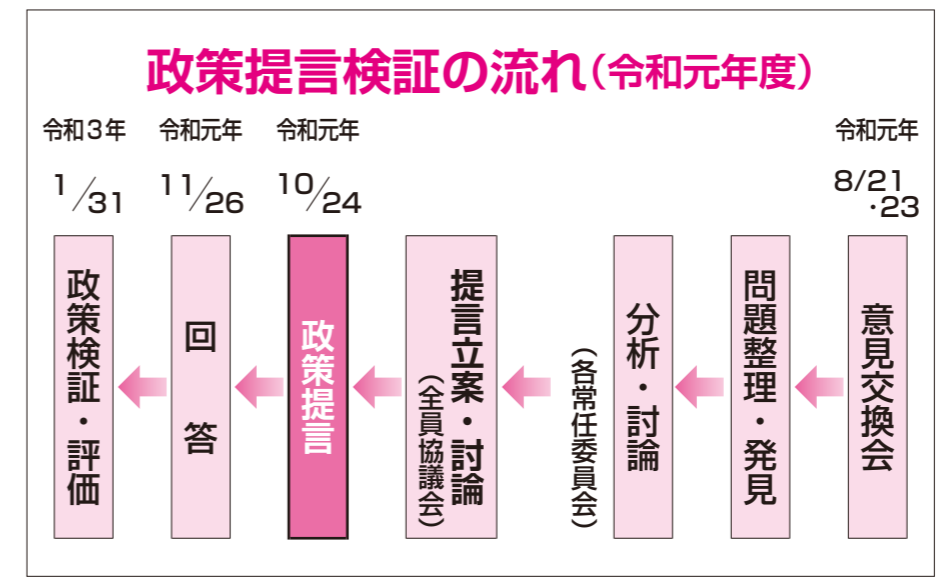
地域の元気

井上 委員長 チャンピオン牛の乳製品もあればいいですね。 齋藤 先生 畜舎の中にも加工所ができる。 今後期待したいです。

策証 政検

議員全員で 厳しい評価 政策を検証

3月19日、定例会最終日に令和元年度検証評価報告書が鈴木議長から原田町長に手渡された。議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換会をもとに町行政の施策の分析と討論を行った。これで「政策提言→検証→評価」の1サイクルが終了することになる。7度目の政策検証となるが、どうしても中長期の政策は評価が低くなる。施策にスピード感がないければ評価が上がらないとも言える。



提言3 農作物の被害防止

1 鳥獣被害対策を早急に進めると

回答 県から捕獲許可の権限移譲を受け、よりスピーディーな捕獲活動に努めると共に、インシシ等新たな有害鳥獣の駆除に向け集中的に対策を講じていく。

検証評価 地域ぐるみの対策やそのための組織化、猟友会への経済的支援の強化が必要である。また、未然防止するための緩衝帯の設置や耕作放棄地の削減に努めるべきである。

提言2 生活交通手段の充実

1 デマンド交通の充実を図ること

回答 当日予約や町外等への広域運行が課題と捉えている。今後も利用者等からのアンケート調査を継続して行い、川西町地域公共交通会議での協議やタクシー事業者の理解のもと、運行の充実について検討していく。

検証評価 当日予約や広域運行の実現に向け、関係機関と協議し、住民の要望に応えられるよう努めるべきである。

2 買い物弱者など、生活支援の充実を図ること

回答 デマンド型乗合交通は、町内どこでも乗り降り可能で一日9便、年中無休で運行しており、買い物等を含め多様な生活交通として利用拡大が図られている。今後、利用者のニーズの把握に努めながら、支援の在り方について研究していく。

検証評価 デマンド交通の当日予約を可能にし、移動販売等も含め買い物弱者の生活支援を早急に進めるべきである。

提言1 庁舎跡地の利活用

1 跡地利用のグラウンドデザインを早急に示すこと

回答 小松地区交流センターを核としながら、多種多様な多くの人が気軽に集い、交流を通じた新たなにぎわいの創出を目標とし、3月議会において川西町役場跡地利用基本方針を示す予定であり、その後の具体的な整備計画へと繋げていく。

検証評価 基本理念の「集い・交流・にぎわいの創出」の具現化には程遠い。町内商店や企業者が利用できる機能と場所の整備をはかり、中心市街地の活性化の観点から、誰もが立ち寄れる自由な憩いの場も設置すべきである。

2 町民の要望を反映させること

回答 外部委員会、社会教育・文化団体の皆さんや小松地区地域振興協議会との意見交換を行うなど、意見の聴取を進めてきた。若者や地域の皆さんの意向把握に努め、町民ニーズに基づいた跡地活用計画の策定に努めていく。

検証評価 多種多様な方や、世代間の聞き取り等、意見を集約したことは評価できるが、全体を考へ利活用すべきである。

3 適正な財源確保に努めること

回答 庁舎跡地の利活用に係る具体的機能や施設規模等をできるだけ早期に決定し、有利な財源を確保するための調査研究を進め、新たな賑わいの創出に努めていく。

検証評価 継続して有利な財源確保に努めるべきである。

提言4 働く場の確保

1 企業誘致を実現すること

回答 町民の雇用機会の確保を図り、本町経済の活性化と発展に向けて努めていく。

検証評価 より積極的な企業誘致を前向きに進めるべきである。

2 起業支援を含め雇用の拡大を図ること

回答 企業支援については平成27年10月「川西町創業支援事業計画」を策定し、起業希望者への窓口の設置や創業補助金などの支援に取り組み、雇用の確保には今年5月に雇用対策を推進し地域産業の発展を目的とした「川西町雇用対策連絡会」を立ち上げ就職促進を図った。

検証評価 起業を促進し、若者が地元に着目する政策を強力に進めること。また、雇用の確保に向け、正社員として雇用できる事業者の誘致を図るべきである。

政策検証評価基準

ほぼ達成

成果あり

課題あり

A 必要な取り組みを着実に実施。その結果、目標達成ないしほぼ達成

B 必要な取り組みを着実に実施。その結果、達成に向けて具体的な成果が見られる

C 必要な取り組みをおおむね実施。その結果、一定の成果が見られ始めている

D 必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている

E 取り組みに向けた検討に着手。目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である

予算案否決 庁舎 跡地計画に待った

3月
定例会

3月定例会の あらまし

3月定例会が3月3日から19日までの17日間の会期で開催された。
第1日目に、人事案2件の選任、推薦に同意し、条例案5件、町有財産の無償貸し付けなどを一括上程し、委員に付託した。その後、町長の令和3年度施政方針の説明があり、条例案1件、令和2年度補正予算5件、令和3年度予算7件が一括上程された。請願は2件提出された。
第2、3日目に一般質問を行い、9議員が新型コロナウイルス対策や中心市街地活性化などを取り上げ、町政をたどした。
6日目を以降に常任委員会、予算特別委員会分科会を開き議案を審査した。
最終日に、予算特別委員会が開催され、令和2年度補正予算、条例6件、令和3年度各会計予算案11件が可決されたが、令和3年度一般会計予算案は賛成少数で否決された。請願2件は願意妥当で採択され、1件は国に対して意見書を提出することを可決し閉会した。傍聴者は3人。
予算案の否決を受け、3月30日に臨時会を開催し、修正案を可決した。

臨時会で修正案を可決

拠点施設整備費を除いて修正

令和3年度一般会計予算(修正案)の特徴
1. 111億4361万円で前年対比7.2%減。
2. 投資的経費は、新庁舎完了のため、昨年度対比23.2%減の11億6603万円
3. 公債費(借入金返済)は13億1089万円
4. 主な事業は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種や、メディカルタウン造成工事、など

令和3年度当初の一般会計の総額は、112億2600万円で7億8000万円の減、前年度対比6.5%減となった。新庁舎整備事業の完了などでの減少となった。
新庁舎整備事業の完了などでの減少となった。
本町の最大財源である地方交付税は、全国規模総額5.1%の増額の見込みだが、大幅な増加は期待できない。各種基金の残高が乏しいなど、厳しい財政状況が続くと予想される。一大事業である新庁舎整備が完了するが継続事業のメディカルタウン整備をはじめとする

プロジェクトである公立置賜総合病院周辺のメディカルタウン整備の用地買収や造成工事などが本格化し、継続事業の虚空蔵山西線道路改良、橋梁長寿命化修繕整備、運転免許証自主返納の推進などを行う。

地方交付税は、令和2年度国勢調査人口減少や置賜広域病院企業団交付金の減額などを踏まえ、前年度比1.8%の増を見込み計上した。
備計画(庁舎跡地計画)の基本計画は予算化されたものの、「住民意見が反映されていない」「説明不足である」など計画に否定的な意見が相次ぎ、反対討論のあと、採決の結果賛成5、反対7の賛成少数で、この計画を否決された。
修正案を可決
町長は否決を重く受けとめるとし、拠点施設の整備について再検討するため、庁舎跡地計画の8228万円を除いた111億4361万円の修正案を3月30日の臨時議会に提案、審議の結果、全会一致で可決成立した。
計画見直しに伴う整備のスケジュールについては、詳しい見直しは未定とした上で2025年までに工事を終わらせたいとしている。

令和3年度 一般会計予算に 討論がありました

拠点施設計画を 見直せ

反対

伊藤寿郎 議員

地域振興拠点施設整備計画(庁舎跡地計画)の基本方針、導入する機能については具体性に欠け、若者や女性、子育て世代等、次世代を担う方々の多種多様な意見が反映されていない。
今後の人口減少、高齢化社会を考えると、現交流センターを運営する組織に頼らざるを得ず、大きな負担増となり、活用すら危ぶまれる。

「機能連携のイメージ」
ジ」は小松地区交流センターのまわりに、交流・憩いの空間づくり、活力ある地域づくり、まちなかの賑わいづくり、と示されているが、どれも抽象的で、活性化をイメージできるものではない。
今般、立て続けの大規模事業推進と現在のコロナ感染拡大による経済悪化を考えると、進展が見いだせない状況である。また、想定財源の説明において施設整備の支援を受ける時

期を考えると財源確保の不安が大き過ぎる。しっかりとした、財源確保と維持管理の計画を町民に懇切丁寧に説明できる事業でなければならぬ。
地域経済再生に実績を持つコンサルタントなどの導入を求め、具体的なプランニングを示す、など議会からの意見や提言に耳を傾けていただき、計画の再考を求めて反対とする。

私もひとこと & 私達の願い

3年度
予算

高齢者に優しいまちづくり



百歳体操でみんな元気に

現在介護の仕事に携わっております。そこでさまざまな高齢者の方々の思いを聞いています。
今後はさらに少子高齢化が進み、高齢者が子どもの数より増えていくと言われている中で、高齢者が過ごしやすいのびのびと生活できるような福祉に強いまちづくりを望んでいます。
少しでも高齢者の方にとって負担がないまちづくりを行ってほしいと思います。自分も微力ながら役に立てばと思っています。



小松地区
橋本 慶大 さん

メディカルタウンに期待すること



大塚地区
青木 督平 さん

企業誘致や商業施設の活用により土地利用を最大に活用し国道113号また、287号川西バイパスで置賜中心域内の交流が促進され期待されます。
計画の検討により実行整備計画が早期にできることを地元民も楽しみにしております。町民や若者の定着を望み、魅力ある都市的機能の開発を進め、未来ビジョン目標を夢と愛でつなぎ、田園回帰となるように望みます。



着々と整備が進むメディカルタウン

コロナ対策に望むこと



ワクチン接種会場となる「あいばる」

コロナ収束が一番の願いです。
年齢に達しなくても持病を持つてる方へ優先的にワクチン接種して頂きたいです。
また接種会場までの交通手段ですが、デマンドタクシーの利用を充実して欲しいと思います。
早期のワクチン接種に期待したいですね。

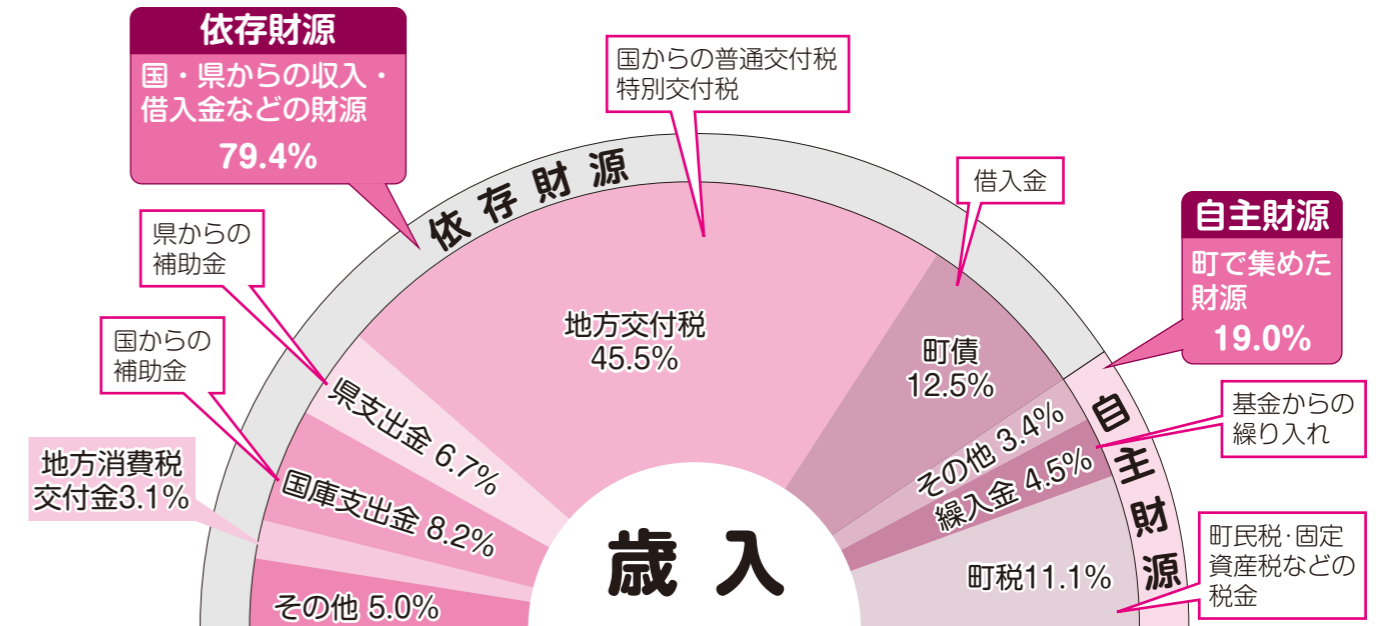


吉田地区
笹木 玲子 さん

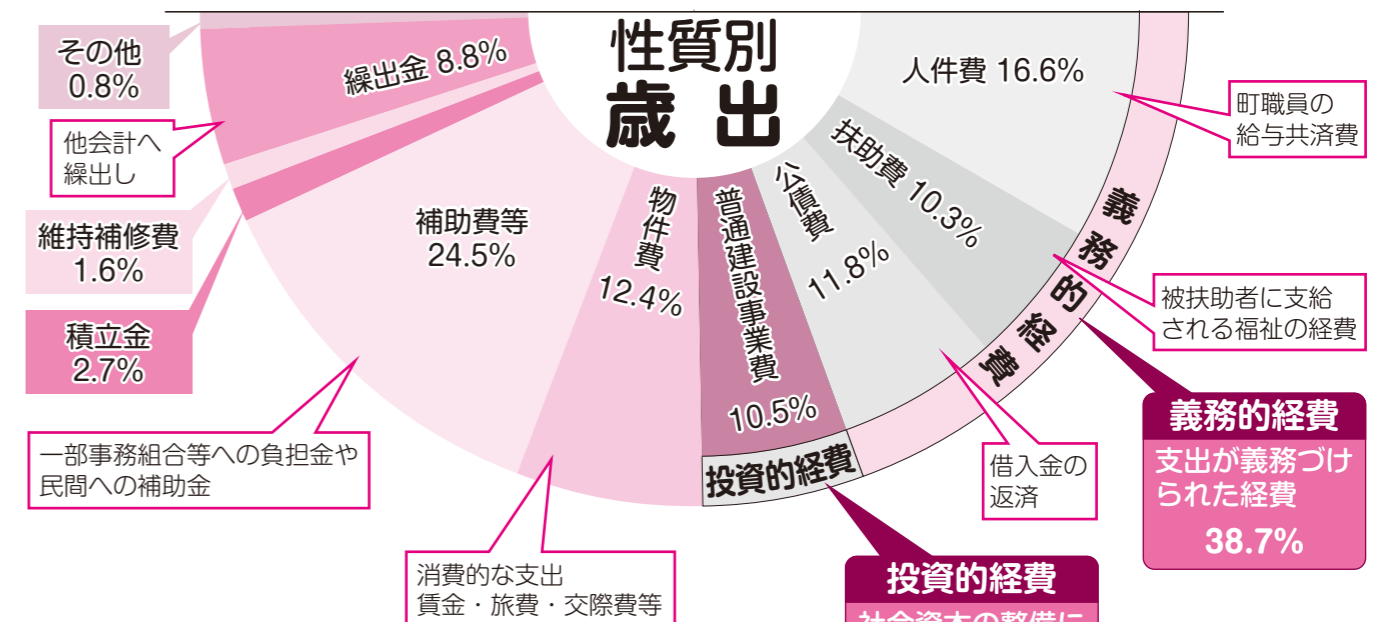
予算の内訳

昨年との比較

	令和3年度	令和2年度	増減額
地方交付税	50億7400万円	49億2500万円	1億4900万円
町債(借入金)	13億9550万円	25億6600万円	▲11億7050万円



一般会計 111億4361万円



昨年との比較

	令和3年度	令和2年度	増減額
人件費	18億4871万円	18億9981万円	▲5110万円
補助費等	27億3663万円	25億1834万円	2億1829万円

職員減でサービス低下心配

橋本 欣一 議員

橋本 令和3年度一般会計予算案中、人件費が前年対比2.7パーセント減とある。減員によるサービス低下の心配があるが、人員削減で住民サービスの低下につながるような職員養成を図っていくか。

町長 スクールバス運行の業者委託による運転手の費用が人件費から別費目に代わったことが主な要因である。住民サービスの向上につながるよう職員養成を図っていく。

老朽管、交付金事業で

高橋 輝行 議員

高橋 水道の老朽管更新について、交付金事業を活用して取り組むべきではないか。現在調査中であり、令和3年度は計画に向けた準備期間と考える。

町長 積極的に交付金事業の活用を図り、更新していきたい。

高橋 旧東沢小学校をはじめ、廃止が見込まれる公共施設の貸借契約について、無償貸与のほか、無償譲渡も検討すべきではないか。

町長 施設の貸与や譲渡を含めて検討していく。

SDGs達成の計画はあるか

神村 建二 議員

神村 国連で合意された世界共通のSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、予算を含めた構想をどのように考えているか。

町長 SDGsを意識した取り組みを進めていく。広く啓発し、推進する施策の一つひとつがSDGsの目指すゴールにつながるものが大切である。財政状況や、将来の見通しを勘案し事業を進めていく。

町施設の換気対応は

井上 晃一 議員

井上 新型コロナウイルス感染症対策で施設の換気が必要とされるが、町内の施設についての対応状況はどうか。

町長 現在、「あいち各施設で換気工事を進めている。まだ不十分と思われる施設もあるが必要な補修を進める予定である。」

町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



小松地区のにぎわいの一つ（神送り）

拠点施設にぎわいづくりにつなげよ

問 地域振興拠点施設整備事業と中心市街地のにぎわいづくりをどうする

町長 新しい拠点施設整備を進める本事業は、「中心市街地活性化基本計画アクションプラン」の具体化の一つと位置付けており、まちづくりへ

の一里塚である。本事業による施設整備でまちづくりやにぎわいづくりが完結するものではないと認識している。特に施設を中心としたソフト事業の展開が一層重要になると考えており、アイデアの掘り起こしなど地域の皆さんの積極的な参画を促しながら進めることが不可欠である。

意見 地域振興拠点施設整備事業による施設整備が、まちなかににぎわいづくりにつなげるように、住民と連携し取り組むことが必要である。

問 令和3年度の主要施策を問う

町長 主要施策について説明する。

福祉課長 介護予防、認知症施策を推進する。障がい者（児）が自分らしい生活をおくれるよう支援する。各種施策を民生委員児童委員や関係機関との連携で行う。

健康子育て課長 ワクチンは国から4月最終週に届くので速やかに接種

ワクチン、4月12日予約開始



ワクチン接種のリハーサル

を開始できるように準備を進めている。

産業振興課長 各産業の振興、6次産業化の推進および起業支援による雇用の創出を図る。コロナ禍対策として、国・県の情報収集に努め町内事業者を支援していく。

意見 点に立った農業施設の整備、改修を推進する。各国道の整備促進に向け、国や

地域整備課長 県に対し強く要望活動を行っていく。水道の老朽管の更新については、国の交付金事業ですべく協議を進める。

意見 職員個々の能力が十分発揮できるように人材育成に努めるとともに、行政運営の管理を図ること。

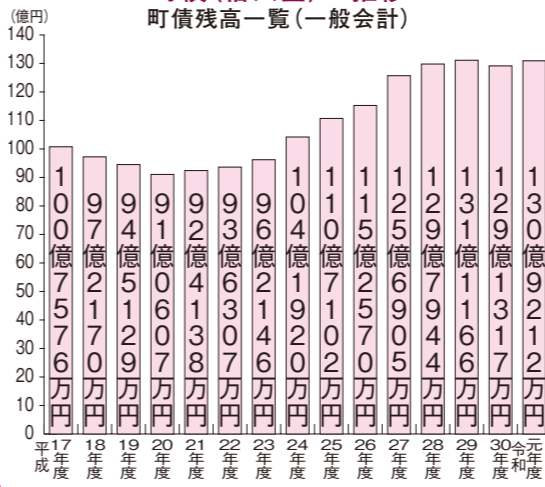
農地林務課長 農業の担い手の確保・育成は、「人・農地プラン」に基づき進める。災害に

令和3年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容	
一般会計	111億4361万円	全員賛成により可決(修正案)	
国民健康保険事業特別会計	17億5909万円	全員賛成により可決	
下水道特別会計	5億542万円	全員賛成により可決	
農業集落排水事業特別会計	9612万円	全員賛成により可決	
介護保険事業特別会計	19億9208万円	賛成多数により可決(反対3)	
後期高齢者医療特別会計	1億8036万円	賛成多数により可決(反対3)	
企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業	収益的 4億7835万円	4億5731万円	賛成多数により可決(反対3)
会計	資本的 1億6911万円	3億3578万円	

ここが知りたい

町債(借入金)の推移
町債残高一覧(一般会計)



防災対策事業

屋内受信ができる方式へ検討を進める



県防災通信アンテナと町の送信アンテナ

問 防災対策事業の内容は。

総務課長 屋外防災無線子局を屋内で受信する戸別受信機やFM防災ラジオによる情報を取得できる方式への検討を進めている。

意 住民への情報伝達手段について、有効性のある対応を速やかに図るよう。

問 公用車整備事業の内容は。

総務課長 計画により更新を行うものである。

意 ゼロカーボンシティ宣言をしたので、電気自動車の導入を積極的に進めるよう。

問 メディカルタウン整備事業の内容は。

政策推進課長 公共区域への施設整備に係る用地取得、造成工事及び拠点施設の基本設計・実施設計に要する経費等である。

問 空き家対策の状況は。

住民生活課長 老朽危険空き家除却支援事業について、補助件数を4

意 補助対象要件を緩和するように。

問 地区交流センター管理運営事業の内容は。

まちづくり課長 地区交流センターの指定管理料に、新たに旅費、パソコンリース料を計上。臨時職員を通常雇用に見直し増額した。

意 職員の待遇改善に努めながら、

問 担い手確保を支援していくように。

意 鏡沼のヒシ対策及び野外ステーションの有効活用を検討するように。

意 野外ステージ等の維持管理経費である。

問 浴浴センター管理運営事業及びパークゴルフ場管理運営事業の内容は。

まちづくり課長 浴浴センターおよびパークゴルフ場を一体化して指定管理者を指定することとし、両施設それぞれの収支状況を明確にしなが管理していく。

意 今後の事業や施設利用に支障が生じることのないよう。

問 中学校の部活動指導員配置事業の状況は。

教育総務課長 県の補助事業として1名分だけである。

意 教職員の働き方改革の取り組みを進めるため、部活動指導員の増員など県への要望も含め充実を図るよう。

問 交流館(あいはら)管理事業の内容は。

生涯学習課長 新庁舎へ移動することから、3年度以降の管理は、当面直営で行う計画である。

意 今後の事業や施設利用に支障が生じることのないよう。

産業厚生
第2分科会
新型コロナワクチン接種
5月6日接種開始に向け準備

問 新型コロナワクチン接種事業の内容は。

健康子育て課長 高齢者への接種開始を5月6日と想定し各種準備を進めている。

意 接種に向けた組織体制を早急に確立し、速やかに市民に接種するように。

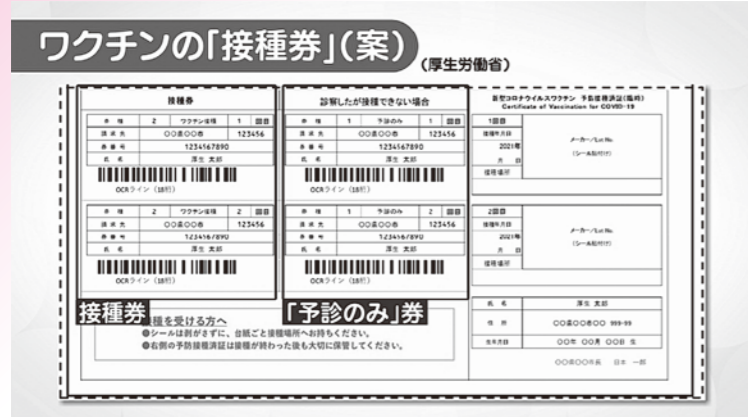
問 福祉灯油助成事業の内容は。

福祉介護課長 県と町で一世帯あたり5000円の助成であり、世帯収入が100万円以下の場合は一世代あたり1000円分を加算する。

意 高齢者等の生活支援の充実に努めるように。

問 子育て世代包括支援センター事業の内容は。

福祉介護課長 助産師や保健師による産後ケアおよび出産後病院で行う新生児聴覚検査に対し助成を行う。



配布されたワクチン接種券

問 農業委員報酬等の内容は。

農地課長 農業委員や農地利用最適化推進員の報酬は前年同様である。

意 近隣市町の活動実態を把握し、農業委員等の待遇改善を図るよう。

問 長堀堰農業振興基金の内容は。

農地課長 基金利子の積み立て管理を行っている。

意 本町農業の振興に果たしてきた役割は大きい。今後その功績と歴史を長く継承していくことが重要であるため、その仕

問 鳥獣被害防止対策事業等の内容は。

農地課長 被害対策防止協議会・猟友会の運営資金等である。

意 鳥獣被害対策実施団体の育成と併せ、耕作放棄地や里山環境の適切な管理を、地域住民と連携し進めるように。

問 6次産業化推進事業の内容は。

産業振興課長 6次産業化推進委員の配置、支援事業の実施および6次産業化拠点施設への運営支援等である。

意 農産加工建設用地の管理方法の見直しと拠点施設の費用対効果を再検証し、自主自立に向けた取り組みを促進するよう。

問 河川事務経費の内容は。

地域整備課長 山口沢川及び方福寺川で、有利な財源を活用し、災害の未然防止対策として調査測量設計業務を実施するものである。

意 事業効果のある災害対策を講じるように。

問 介護用品(紙おむつ)購入支援事業の内容は。

福祉介護課長 対象者は介護3の方としていますが、要介護2で常時失禁かつ認知症高齢者(自立度Ⅲ以上)の方も対象に加える。

意 3年度に予定している工事である。

問 水道事業会計の配水設備改良費の内容は。

地域整備課長 交付金事業採択に向け適正な人員体制の拡充を図るよう。

意 3年度に予定している工事である。

ワクチン

新型コロナワクチン接種の対応は

町長 一 国指導の下、円滑化を図り実施する

寒河江 ワクチン接種は、住民票のある自治体で行うこととなっている。単身赴任や長期入院の理由があれば他の自治体で接種ができる。国の指針が出ているが、町の考えは、国では、ワクチン接種については、生命、健康を損なうリスクの軽減や医療への負担軽減、社会経済の安定につながるから、円滑なワクチン接種の実施に向け、接種体制の確保を県・市町村に求めている。単身赴任や長期入院等、やむを得ない事情がある場合は、住民票所在地以外での接種が認めら

寒河江 町外の会社内でワクチン接種がされている。ある場合は、他の自治体での接種となるが認められるか。

町長 職場内でのワクチン接種については、現段階での手引きに明確に指示されていないことから、情報収集に努め、国の考えに基づき対応をしている。

寒河江 65歳以上の高齢者が5750人全員がワクチン接種を行った場合、受付時や接種後の副反応を確認するための時間も含め混雑が予想される。会場内の感染予防の3密を

町長 避ける対応策は、集団接種の際の健康観察での待機方法は、接種会場において被接種者間で、2メートル以上の間隔をとることができるといふことを確保するよう、手引きに記載されているように、密を避け待機できるように配慮したスペースの確保を検討する。

寒河江 基礎疾患のある方、町内外のかかりつけ医での接種は可能か。

町長 基礎疾患のある方は、やむを得ない事情で住民票所在地以外において接種を受けるものとして、「基

寒河江司 議員



罹患対策のワクチン接種リハーサル

寒河江 コロナ禍で飲食業が大打撃を受けている。経済活性化のためにも飲食業や接客業の方々に優先的に接種してはどうか。

町長 ワクチン接種は国が定めた接種順位により実施することから、町独自で優先順位を設定するのは難しい。接種順位に基づき早めに接種をしていただくようお願いしています。

町長 基礎疾患を持つものが主治医の下で接種する場合も含まれているため、必ずしも町内の医療機関や集団接種でなければならぬとは認識していない。かかりつけ医でのワクチン接種を希望する場合は、直接予約をして確認してから接種をお願いしたい。

町政をただす

一般質問

9人の議員が一般質問

定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、9人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P17 チワンク	寒河江 司 議員 ① コロナ感染症対策のワクチン接種の対応は	P21 環境	橋本 欣一 議員 ① 川西町ゼロカーボンシティ宣言と環境基本計画は ③ 男女共同参画の現状は
P18 環境	吉村 徹 議員 ① ゼロカーボンシティ宣言の取り組みは ② 豪雪対策本部の設置の判断基準は ③ 新型コロナワクチン接種時の高齢者の交通手段は ④ 置賜農高の取り組み	P22 新庁舎	島 貫 偕 議員 ① 災害時における対応は ② 入札制度の形式はどうなっているか ③ 空き家対策の取り組みは
P19 づまくり	渡部 秀一 議員 ① まちづくりと中心街は ② ワクチン接種	P23 同男女参画	遠藤 明子 議員 ① 女性が輝く社会づくりを ② 置賜農業高校の魅力化は
P20 ダリア	伊藤 進 議員 ① 観光政策にダリア課の設置を ② コロナ禍での産業政策は ③ 施設管理でネーミングライツの考えはあるか ④ 危機管理対策は	P24 環境	井上 晃一 議員 ① 環境対策でごみ問題は
		P25 町人口	高橋 輝行 議員 ① かわにし未来ビジョン(第5次総合計画)後期基本計画 ② 職員の人材育成は ③ 職員の公務中の事故 ④ 萩野地区団体営圃場整備事業(地元負担割合)は

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

一般質問とは
一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。
質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。
また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。
再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

一般質問

環境

町長―二酸化炭素削減に向け進めていく ゼロカーボンシティの具体的な取り組みは



吉村 徹 議員

町長―二酸化炭素削減に向け進めていく

吉村

去る12月25日に川西町ゼロカーボンシティ宣言が出されたが、具体的な取り組みや進め方は。

町長

現在策定中の令和3年度から7年度までの5カ年計画である「第4次川西町環境基本計画」の中で、2050年までの実質排出ゼロを目指し、具体的な施策を推進すると共に、同時並行で策定している「地球温暖

豪雪対策本部設置

化対策実行計画（事務事業編）に基づき、二酸化炭素削減に向けた取り組みを進めていく。

吉村 豪雪対策本部の立ち上げについて

本町における対策本部立ち上げの判断基準は、地域防災計画では、①相当な

町長

本年度については、雪害による人的被害の発生を受け、雪害対策連絡会議を立ち上げ、さらに2月9日には雪害対策本部を設置し、除雪作業の注意喚起を行っている。

災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき②町長が特に必要があると判断したとき設置するとしており、その都度、柔軟に判断し対応している。

今年度については、雪害による人的被害の発生を受け、雪害対策連絡会議を立ち上げ、さらに2月9日には雪害対策本部を設置し、除雪作業の注意喚起を行っている。

今年度については、雪害による人的被害の発生を受け、雪害対策連絡会議を立ち上げ、さらに2月9日には雪害対策本部を設置し、除雪作業の注意喚起を行っている。

今年度については、雪害による人的被害の発生を受け、雪害対策連絡会議を立ち上げ、さらに2月9日には雪害対策本部を設置し、除雪作業の注意喚起を行っている。

吉村 新型コロナワクチン接種がよいよ始まる。接種会場を交流館「あいばる」を想定しているが、高齢者の会場までの交通手段をどのように考えるか。

町長

できるだけ多くの方に接種いただくためには移動手段の対策が必要と考えている。デマンド交通の

今後検討する

渡部 中心市街地活性化事業の中では「まちなかを回遊できる仕組みづくり」としているが、整備されていないところを歩いて回遊した観光客が、リピーターになると考えているのか。

町長

実行組織や人材の確保、民間活力の活用など課題が多く、「まちなかを回遊できる仕組みづくり」は具体化に至っていない。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長

川西町地域振興拠点施設整備基本計画の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 中心市街地活性化プロジェクト委員会の事業報告があり、駅前整備や置賜農業高校の単独での存続、高校生も集える町に、中心街の整備についての意見があったが、どう考えるか。

町長

中心市街地活性化プロジェクト委員会の事業報告があり、駅前整備や置賜農業高校の単独での存続、高校生も集える町に、中心街の整備についての意見があったが、どう考えるか。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇



温暖化対策は身近なところから

活用を含め、交通手段について検討しているところである。

置賜農高の取り組み

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長

川西町地域振興拠点施設整備基本計画の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長

川西町地域振興拠点施設整備基本計画の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長

川西町地域振興拠点施設整備基本計画の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇



整備が待たれる中心市街地

まちづくりと中心市街地―町の良い印象が大切

町長 ― 中心市街地の活性化を主要施策の一つに

まちづくり

渡部 駅前空き地は利用者に悪い印象を与えている。有効活用を考えるべきである。また、駅西地区は3千人以上が住んでいてさまざまな機関が集積する中心街である。しかし、同規模の町に比べると整備されていない。コンパクトシティを考えると、一つの大きな核を整備して、各地区のまとまった核と結び、インフラ整備費の縮小や公共施設の複合等で行政コストの削減を図り、人口減少しても住民サービスの質を落とさずに済むはずだ。大きな核と

なる中心街の整備をおろそかにし、さらに各地区のまとまりを促す施策をすべきだが、一方でメディカルタウンの整備といった行政コストがかかるようなことを始めている。行政財政改革を掲げている町とは思えない方向に進んでいるのでは。

今後検討する

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長 庁舎跡地活用は、小松地区地域振興協議会が独自の活動拠点を持たなかったことから、小松地区交流センターを核とし、賑わいづくりに資する施設を整備する。また、中心市街地活性化プロジェクト委員会から提出された事業報告書の内容を踏まえつつ、中心市街地活性化に向けて進めていきたい。

町長 後期基本計画において中心市街地の活性化を主要施策の一つに活力ある市街地づくりを進める。駅前の空き地について所有者と面談をして、有効な土地利用について情報交換を行った。駅前周辺の環境整備は

中心街の現状

渡部 中心市街地活性化事業の中では「まちなかを回遊できる仕組みづくり」としているが、整備されていないところを歩いて回遊した観光客が、リピーターになると考えているのか。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

吉村 置賜農高が「第11回全国農業高校お米甲子園」において、優勝にあたる最高金賞を受賞された感想は。

町長

この度の受賞はもとより先鋭的な学習機会の創出により、社会で大いに活躍できる人材育成の実践高校として、本町の貴重な宝である同校を誇

渡部 「川西町地域振興拠点施設整備基本計画」の説明を受けたが、前回の一般質問では、複合施設にするとの回答だったが、小松地区交流センターだけの整備となっていないのか。

町長

一般質問

ダリア

「ダリア課」の設置で誘客と施設の充実を

町長ー現状困難、人材育成、確保に努める



伊藤 進 議員

ネーミングライツの考えはあるか

伊藤 施設の維持管理費用について、さまざま取り組まれて

いるが、ネーミングライツを考えたことがあ

るか。
町長 検討した経過はあるが、募集をして手を上げてくれる法人が出てくるか否か不明であり、次期尚早と判断したところである。

伊藤 新庁舎が完成し5年後から償還

となる。必要な施設修繕は行わなければならないことを考えれば、ネーミングライツ等に取り組むことも重要と考えるが。

町長 導入が必要と判断した際にはガイドラインを整備し、社会情勢を見極めながら推進していきたいと考える。

その他 コロナ禍での農産物の状況把握や、業務における危機管理対策についての質問を行った。



日本一から世界一のダリア園を目指せ

※ネーミングライツ 公の施設の名称に、スポンサー企業名や商品ブランド名を付与する権利のこと

環境

ゴミの減量化の方策は

町長ー分別の徹底と3Rの推進を進める

伊藤 本町誘客の最大の施設である川西ダリア園。61年目を迎え、日本一を自負していくため、施設の充実と誘客に取り組む専門的部署として「ダリア課」（仮称）を設置して取り組むべきではないか。観光振興の拠点としてより一層の充実を目指しているが、本町規模の自治体では、優先する行政需要への対応や、職

員体制を含めて専門部署となる課の設置は困難である。ダリアの魅力や価値を再評価し、地域ブランドとして広く発信すべきとの意見と受け止め、人材の育成、確保に努め対外的に戦略を持ったプロモーション活動にも力を入れていく。

伊藤 コロナ感染症で町内事業所（法人・個人）に対し、今後、さらなる対策を行う必要があると思われるが。
町長 国・県等においてさらなる支援策の検討等が進められている。これらの動向を注視し、情報収集に努めながら、商工会をはじめ、関係機関等と連携を図り、効果的な支援策を講じていく。

伊藤 公共施設総合管理計画に、令和3年度中検定期限施設の公表は
町長 小松保育所が該当するが、今後1年をかけた方について協議を進め、令和4年3月定例会において報告する予定である。

橋本 第4次川西町環境基本計画を策定するが、前計画の反省点は。
町長 生活排水、悪臭対策などは成果が上がった。耕畜連携や地産地消で循環型農業が進んだ。一方、ゴミの減量や3Rの向上には課題が残った。ゴミの総排出量は4085（前年3289）トン、一人当たり766（前年617）グラムと増加している。要因は、生活様式の変化で個食が増え、便利に小分けされたインスタント食品の容器包装が増えたものと考えられる。リサイクル率も目標の

20%に対し9.9%と低く、可燃物に含まれる古紙やプラスチック類を分別し資源化するかが課題である。
橋本 減量化の方策の一つである、生ゴミの水切りの徹底と堆肥化が考えられる。一時普及したコンポスト堆肥化が見られないが推進状況はどうか。
町長 生ゴミの堆肥化は、コンポスト堆肥の設置場所が無いなどにより、最近では段ボールコンポストが注目され、手軽に設置できることから普及を図りたい。講習会を開催しているが、コロナ情勢で開催できずにい

る。
橋本 燃えるゴミ袋に入れればすべて燃えるゴミという意識を変え、3R意識を進めるために、より分かりやすいゴミ分別を普及すべきである。
町長 オリンピック組織委員会の前会長発言が、女性蔑視の不適切発言であり、世界中に日本のジェンダー平等後進国として認知された。町長としてこの発言についての見解は。
町長 オリンピック憲章に謳われている「いかなる差別も受

けることなく確実に享受されなければならない」とする主旨に反するもので不適切発言と感じている。
橋本 川西町男女共同参画計画では女性の社会進出の目標値を設けているが成果は。
町長 15の項目を設定し、取り組んでいる。達成した項目は少ないが、女性主体の

起業活動数や女性認定農業者などで向上している。
町長 町の各種委員会の女性登用状況は委員数334人のうち69人である。
橋本 女性管理職の登用・人材育成の推進とジェンダー平等の観点からの計画づくりを進めるべき。



生ごみ堆肥化で家庭菜園に = 段ボールコンポスト

※3R（リユース：再使用 リデュース：減量 リサイクル：再資源化）
頭文字をとった言葉で、環境配慮・廃棄物対策に関するキーワード
※ジェンダー 社会的意味合いから見た、男女の性別

男女共同参画

男女平等社会の構築をどう考えるか

町長 — ジェンダー平等の意識づくりに取り組む



遠藤明子 議員

町長 人口減少や高齢化社会に向けた人材確保は重要である。職場、地域、家庭における男女平等社会の構築をどう考えるか。

遠藤 本町に限らず社会的課題である。男女共同推進計画でアクションプランを策定。SDGsの理念に掲げるジェンダー平等の視点を生かし、互いの価値観を認め合う意識づくりに取り組んでいく。

遠藤 後期計画の主要プロジェクトに「男女共同参画推進プロジェクト」が位置づけられている。前期5年間の取り組みの成果と課題

町長 前期計画では、妊娠・出産・子育て支援等、女性の活躍推進を柱に、特に若年層の女性向けに取り組んだ。18歳までの医療費の無償化、民間の幼児・保育施設整備や病児保育事業支援等、子育てしやすい環境づくりを実施した。また、女性委員の登用や認定女性農業者制度を新設した。一方、女性団体やまちづくりのリーダー等の人材育成が課題。各地区の地域運営組織における女性役員の選出方法や、在り方等について協議検討している。

遠藤 女性活躍推進法に基づく、役場で働く女性職員（非正規職員も含む）の労働環境は良くなっているか。

町長 事業系部署に配置するなど職域の拡大、役職段階に応じた配置や人材育成、長時間勤務の解消等、女性職員の個性や能力が発揮できるように努めている。臨時・非常勤職員については、会計年度任用職員に制度化した。

遠藤 男女共同参画の心を育む教育は、幼少期からの人間形成



女性活躍のバックアップを

町長 教育目標に男女平等が謳われている。各教育施設において、男女共同参画の指導や学習が実践されている。子どもの発達段階に応じた指導が必要と考えている。

遠藤 まちなかの環境整備で置農生を元気に

町長 駅から学校までの通学路の整備

町長 や、立ち寄れる場所を整えることも、若者や高校生に寄り添った支えとなるのでは。

町長 庁舎跡地に整備する「地域振興拠点施設」の設計の中で、可能な限り希望に応じていく。駅から学校までの通学路の整備は、道路管理者の県に要望するとともに、沿線住民の皆さんの協力をお願いしていく。

一般質問

新庁舎

町長 — 十分な耐震性、安全性で迅速に対応する

災害時における新庁舎の防災機能は



島貫 偕 議員

島貫 ほとんどの通信設備は電気が基であるが、電源のバックアップ機能はどのようになっているのか。

町長 地震、風雪害等の非常用発電設備により電力を供給し、庁舎ラインの確保を図り、業務の継続が可能。非常用発電設備は、72時間の電力供給ができる。

島貫 地下の貯水タンクの容量は。

町長 敷地内に貯水量4万リットルの防火水槽を設置し、火災発生時に備えている。また、屋内消火栓設備用7千リットルの貯水槽や飲用等に1万6千リットルの受水槽を非常時に備えている。

町長 移動系無線機を基本に消防関係機関等と連携する。新庁舎を含めた町内21カ所の屋外子局スピーカーは常備されている。バッテリーで情報伝達を行う。

町長 移動系無線機を基本に消防関係機関等と連携する。新庁舎を含めた町内21カ所の屋外子局スピーカーは常備されている。バッテリーで情報伝達を行う。

島貫 消防団等外部との連絡体制はどうか。

町長 町の入札制度はどのようになっているのか。工事経歴、技術者の数、

町長 町の入札制度はどのようになっているのか。工事経歴、技術者の数、

島貫 災害時に通行に支障が出る場合、所有権などと言っている場合ではないと思うがどうか。

町長 「災害対策基本法」で、工作物または物件で、当該緊急措置の実施の支障となるものは除去または、その他必要な措置を行うことになる。

島貫 北方地区の場合、どのようになるのか。

町長 同様に「災害対策基本法」に則り対応する。本町の空き家は昨年10月の調査結果で281件あり、危険度ランクDの空き家は48件ある。「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき適正に管理するよう通告している。



災害対策本部機能が強化された新庁舎

一般質問

環境

環境に影響するごみ排出量の現状は

町長 可燃ごみは毎年増加している



井上晃一 議員

井上 可燃、不燃ごみとも環境に与える影響は大きいですが、ごみ排出量の推移は。また、資源ごみの状況は。

町長 可燃ごみは毎年0・5%程度増加しており、令和元年度は、震災ごみを除いて2155トン、不燃ごみは毎年同程度で234トンだった。資源ごみは、ペットボトル・プラスチック、古紙、金属類、びんおよび布

井上 可燃ごみは毎年0・5%程度増加しており、令和元年度は、震災ごみを除いて2155トン、不燃ごみは毎年同程度で234トンだった。資源ごみは、ペットボトル・プラスチック、古紙、金属類、びんおよび布

井上 可燃ごみに不燃物が混入しているものを見かける。再度、分別の周知が必要ではないか。また、ごみ処理の負担金額を町報で周知し、町民に成果を見せながら削減していくべきではないか。

町長 分別が徹底されるように、より一層の周知の強化が必要であり、分別やリサイクルの意識の向上等が重要である。第4次

井上 可燃ごみに不燃物が混入しているものを見かける。再度、分別の周知が必要ではないか。また、ごみ処理の負担金額を町報で周知し、町民に成果を見せながら削減していくべきではないか。

町長 分別が徹底されるように、より一層の周知の強化が必要であり、分別やリサイクルの意識の向上等が重要である。第4次



ごみ収集車で火災がないようゴミ分別徹底を

井上 道路わきの不法投棄、稲わらの野焼きについても問題が多いが。

町長 一斉清掃で各地区交流センターを窓口にし、土のう袋を自治会に配布している。また、費用負担なく処分できる制度があるので住民生活課に問い合わせしてほしい。稲わらの野焼きは、合法的に行われている。

井上 生ごみリサイクルのコンポストも、堆肥の使い道がないとの声も聞く。堆肥バンクのような制度はできないか。

町長 余った堆肥は、役場に持ち込んでもらい、庁舎周りの朝顔の棚などで使わせてもらっている。

井上 可燃ごみに不燃物が混入しているものを見かける。再度、分別の周知が必要ではないか。また、ごみ処理の負担金額を町報で周知し、町民に成果を見せながら削減していくべきではないか。

町長 分別が徹底されるように、より一層の周知の強化が必要であり、分別やリサイクルの意識の向上等が重要である。第4次

高橋 先の12月定例会で「まち・ひと・しごと創生」総合戦略について、2040年の定住人口1万2000人を目標することは無理ではないかと指摘をした。婚姻件数および婚姻率、出生数や合計特殊出生率、国民希望出生率など、どれを見ても達成は難しいのではないか。国の推計（社人研・国立社会保険・人口問題研究所）では、2040年（令和22年）8869人である。町の目指す人口ビジョンと国の推計では▲3150人である。すでに2020年の国勢調査の人口は、町の

町長 2060年の日本の人口を1億人程度とする目標に向け、国と地方が連携し対策を講じるため国は閣議決定した。令和元年12月に国より示された策定手引きに基づき、国から提供された基礎データを活用し算出したものである。現実的にはかなり厳しい目標となっている。

高橋 職員の公務中の事故は何故。吉田北方地区の当該空き家については、地域の生活環境に悪影響を及ぼし、隣家や付近の住民、通行者に不安を与えている状況となっている。令和元年5月29日に請願書を提出して

町長 職員の公務中の事故については、全職員に安全確保のための行動について注意喚起を行ったところである。「特別措置法」に基づき行政代執行も視野に入れ取り組んでいく。

高橋 萩野地区団体営業場整備事業と聞いている。

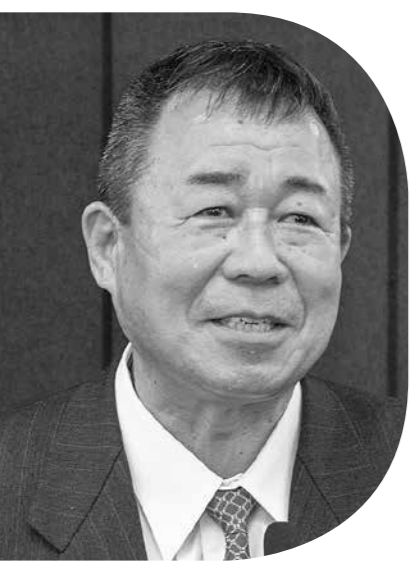
町長 昭和46年から5年間を事業計画期間とし、事業面積178・9haとして実施されたものである。長堀堰土地改良区が事業主体となり実施されたものである。工事費の負担割合は、国45%県5%地元50%であった

高橋 萩野地区団体営業場整備事業と聞いている。

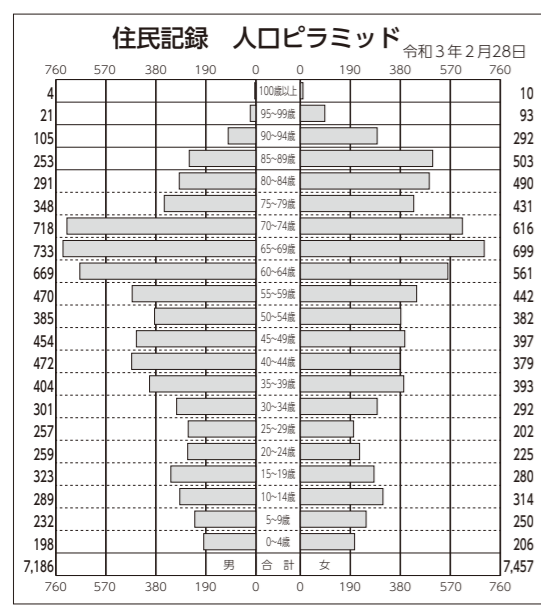
町長 昭和46年から5年間を事業計画期間とし、事業面積178・9haとして実施されたものである。長堀堰土地改良区が事業主体となり実施されたものである。工事費の負担割合は、国45%県5%地元50%であった

2040年 1万2000人目指すのは難しいのでは 町長 現実的にはかなり難しい

町人口



高橋輝行 議員



令和3年2月28日現在の人口ピラミッド

補正 正算

令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策 ワクチン接種準備進む



5月6日からのワクチン接種に向けたリハーサル

これまで国のコロナ対策地方創生臨時交付金が1次（令和2年7月）、2次（令和2年11月）、2次追加（令和3年2月）、合計4億6100万円が決定内示された。

医療・介護施設・学校・公共機関のマスクや消毒液などをはじめとした感染予防対策、家庭学習支援・各地区センターのリモート会議用機器整備、町内事業者に対する補助、プレミアム商品券などの経済対策に活用されてきた。

3月補正予算の2億6479万9千円では、これまで国のコロナ対策地方創生臨時交付金が1次（令和2年7月）、2次（令和2年11月）、2次追加（令和3年2月）、合計4億6100万円が決定内示された。

医療・介護施設・学校・公共機関のマスクや消毒液などをはじめとした感染予防対策、家庭学習支援・各地区センターのリモート会議用機器整備、町内事業者に対する補助、プレミアム商品券などの経済対策に活用されてきた。

3月補正予算の2億6479万9千円では、



表紙の写真

今日から一緒に
新型コロナウイルス感染症の拡大で、2年続けて卒業・入学式が限られた範囲で行われている状態が続いている。

初めて経験する子どもたちにとっては、少人数、簡素化の中での式が当たり前となった。今までの物事の有り様を一変させるような感染の拡大は本当に怖い。とは言いながら、新しいスタートに大声は出せなくとも、心の中で大きなエールを送りたい。

（小松小学校入学式）

令和2年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第12号)	152億3448万5000円 (2億6479万9000円追加)	賛成多数で可決
国民健康保険事業特別会計(第3号)	17億7897万8000円 (5783万5000円追加)	全員賛成で可決
下水道事業特別会計(第4号)	5億5273万7000円 (5914万7000円減額)	全員賛成で可決
介護保険事業特別会計(第4号)	19億9030万4000円 (2448万円追加)	全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計(第3号)	1億8108万1000円 (93万2000円追加)	全員賛成で可決

一般会計補正予算(第12号)の主な内容

歳出	
放課後児童クラブ運営事業委託料	417万円
広域病院運営事業一部事務組合負担分	6430万円
浴浴センター管理運営事業委託金	500万円
担い手確保経営強化支援事業	409万円
交流館整備事業工事費	7607万円
歳入	
特別交付税(広域病院運営費負担分)	6200万円
農業生産基盤整備事業債	1140万円
担い手確保・経営強化支援事業費県補助金	409万円
社会資本整備総合交付金	1112万円
放課後児童健全育成事業費等県補助金	132万円

コロナ対策以外の補正
浴浴センター管理運営事業

緊急事態宣言中の2カ月間（4/13～5/31、47日間）休業により、売り上げを補償するものである。

浴浴センター委託業務は、施設の利用料収入を指定管理業務に充てる料金体系のため営業休止により指定管理業務を実施できなかつた減収分を負担するものである。

補正額 500万円

災害弔慰金支給
災害救助法が適用された区域が2都道府県以上ある自然災害で死亡した場合は、生計維持者の死亡について500万円、その他者は250万円が遺族に支給される。

この冬の雪害で犠牲になった2遺族に対し、国1/2、県1/4、町1/4の負担割合で支給された。

補正額 500万円

普通建設費事業
国の第3次補正予算成立で、ため池総合整備（四ツ釜）整備負担金（40万円）農業競争力強化基盤整備（大塚西部）水利設備整備（上萩野）などが計上された。

冬期交通確保事業
今期の大雪のために、道路等の除雪費の追加

主な質疑

歳入
計上で、当初予算では5000万円であったが2回の追加で、合計1億8000万円となる。他に除雪機械の消耗品として160万円も計上された。

少雪の昨年を除けば、例年通りの除雪費となる予定。

補正額 4500万円

財政調整基金の繰り入れによるてまかなうため、残高が厳しくなるが考えは、
有利な財源確保に努めていきたい。

減収補てん債の内容は、
地方消費税やたばこ税、各種交付金の減収を補てんするもの、後日交付税措置される。

歳出
問 コロナ対策で公共交通対策事業とあるが具体的にどんな対策か。
女性農業者の起業補助や資材購入の支援を継続し、女性の農業への進出や活躍を進めたい。

問 各種健診事業の委託料増額とあるが内容は、
コロナ禍にもかかわらず各種接種、検診希望者が増加したための増額で、検診で病気予防に努めた。

問 女性農業者支援事業の今後の展開は、
女性農業者の起業補助や資材購入の支援を継続し、女性の農業への進出や活躍を進めたい。

人事

川西町固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

横山昇固定資産評価審査委員が3月31日で任期満了のため提案され、同意した。

●渡部 秀子(新任)中小松

全員賛成で同意

人権擁護委員の推薦

●金田 照子(再任)中小松

法務大臣より推薦の依頼があったので、議会へ諮問の提案がなされた。

全員賛成で同意

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	欠 員	伊藤 寿郎	鈴木 幸廣
議第22号 川西町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	-
議第23号 町有財産の無償貸し付けについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	-
議第5号 令和2年度川西町一般会計補正予算(第12号)	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	-
議第10号 令和3年度川西町一般会計予算	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×		×	-
議第11号 令和3年度川西町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	-
議第14号 令和3年度川西町介護保険事業特別会計予算	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		○	-
議第15号 令和3年度川西町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○		○	-
議第16号 令和3年度川西町水道事業会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	-
発議第3号 誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	-
議第25号 川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×		○	-
発議第4号 川西町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-
発議第5号 議員の派遣について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	-
請願第2号 「安全・安心で、行き届いた教育実現につながる30人学級の実現」に関する請願	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×		×	-
発議第7号 安全・安心で、行き届いた教育実現のために早急に30人学級実現を求める意見書の提出について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×		×	-

町提出案件22件、発議3件 請願2件。○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和2年10月から令和3年3月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
10月	0			2月	0		
11月	2	17,000	川西町戦没者追悼式供花代他1件	3月	0		
12月	3	37,500	議長加藤俊一氏葬儀用生花他2件	下半期合計		54,500	
1月	0						

条例

介護保険料据置

令和5年度まで

川西町高齢者保健福祉計画(第9次)・川西町介護保険事業計画(第8期)の策定に伴い、第1号被保険者保険料の適用年度を「平成30年度から令和2年度まで」を「令和3年度から5年度まで」の3年間に変更するもの。

4月1日より施行

全員賛成により可決

庁舎移転に伴う条例の改正

新庁舎に移転することにより、設置条例を改正するもの。
(川西町公告式条例の一部改正)
第1条 「上小松1567番地」を「上小松977番地1」に改める。
第2条 「上小松1567番地」を「上小松977番地1」に改める。

(川西町議会事務局設置条例の一部改正)

第2条 「上小松1567番地」を「上小松977番地1」に改める。

5月6日より施行

全員賛成により可決

国の基準改正による介護関係4条例一部改正



5月6日に開庁する新庁舎

決議

誹謗中傷をなくし 新型コロナウイルス感染症の 克服を目指す決議



指定介護予防支援等の事業、指定密着型サービス等の事業、地域密着型介護予防サービス事業。
4月1日より施行
全員賛成により可決

指定居宅介護支援等の事業。
4月1日より施行
賛成多数により可決

特別職職員の給与に関する条例
職員が公務中の事故により、町長、副町長の給料を特例により減額して支給するため。
賛成多数により可決
(反対5人)

新型コロナウイルス感染症はSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから、感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことである。これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できない。

感染症は山形県でも昨年11月から感染者が急増している。町民は感染拡大防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向けて懸命に取り組んでいる。こうした状況下、全国各地で感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから、感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことである。これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できない。

新型コロナウイルスは、気が付かないうちに誰もが感染する可能性がある。今、私たちが行うことは、感染防止の徹底であって感染者を誹謗中傷することではない。今こそ、私たち一人ひとりが共に支え合うことが何より大切なこと。

よって、川西町議会では、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、コロナ禍の諸課題に真摯に取り組んでいくので、町民においても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えていく。

以上、決議する。
賛成多数により可決
(反対1人)

中心市街地

活性化に取り組み

《請願名》

「川西町中心市街地活性化についての請願」

《請願者》

川西町中心市街地活性化プロジェクト委員長
川西町商工会
会長 寒河江輝文

《紹介議員》

橋本欣一、渡部秀一
遠藤明子、井上晃一

《所管委員会》

総務文教常任委員会

《主な内容》

川西町中心市街地活性化プロジェクト委員会と協働・連携し、4つの課題①羽前小松駅前並びに周辺市街地整備②役場移転に伴う跡地の活用と中心市街地活性化③羽前小松駅から県立置賜農業高等

学校までの県道8号線沿線整備④県立置賜農業高等学校魅力化プロジェクトの具現化と単独高校存続への支援。この解決の早急な推進を求めるもの。(抜粋)

《審査の経過と結果》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《請願名》

「安心・安全で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現」に関する請願

《請願者》

少人数学級を進める県民の会 代表世話人
高木 紘一
伊沢 良治
佐藤 匡子

《審査の経過と結果》

《本会議》
《賛成多数により可決》

少人数学級を進める県民の会 代表世話人
高木 紘一
伊沢 良治
佐藤 匡子

《紹介議員》

吉村 徹、神村建二
遠藤明子、井上晃一
橋本欣一

《所管委員会》

総務文教常任委員会

《主な内容》

新型コロナウイルス感染症防止対策で、学校の現場でも身体的距離の確保が重要である。コロナ感染症の収束が見通せない現在、少人数学級を推進し30人学級実現に向け、国に意見書提出を求めるもの。

《審査の経過と結果》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

臨時会

1月29日 第1回臨時会

◎議長・副議長の選出。
◎財産取得

◎一般会計補正予算。
◎課設置条例改正。

◎課設置条例改正。
◎課設置条例改正。

◎課設置条例改正。
◎課設置条例改正。

2月17日 第2回臨時会

◎一般会計補正予算
◎一般会計補正予算

3月30日 第3回臨時会

定例会否決の令和3年度一般会計予算(案)
中地域振興拠点施設整備事業費8238万3千円を減額し1111億

4361万7千円で可決。

予算特別委員会審議

財政運営に当たっては、本町の財政規模に見合った財政調整基金を確保していくこと。また、地域振興拠点施設整備事業のみならず、議会に対して十分な説明を行うとともに、町債(過疎債)に依存することなく適正な財源確保に努めるように。

《本会議》
《賛成多数により可決》

2つの特別委員会設置

・置賜農業高等学校存続に関する特別委員会
委員長 島貫 偕
副委員長 井上 晃一

・主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する特別委員会
委員長 淀 秀夫
副委員長 吉村 徹

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

《本会議》
《賛成多数により可決》

全員協議会

全員協議会 2月17日

(1) 職員の公務中の事故報告

(2) 令和3年度一般会計予算の概要

町の政策的な課題や重要事業など最大限盛り込むよう努力した。この結果総額112億2600万円。前年比6・5%減

(3) 第8期川西町介護保険事業計画等の策定状況について

老人福祉法規程に基づく「市町村老人福祉計画」介護保険法の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」の相互連携で総合的な高齢者福祉施策の展開を図ることが求められ、両計画を一体的に策定するもの。

旧高山小 無償で貸し付け

(4) 旧高山小学校の利活用について

社会福祉法人山形県社会福祉事業団から、旧高山小学校を福祉の拠点施設として利用したい旨の申し出を受けた。取り組む事業が本町の福祉向上を図る内容であることから、事業団へ無償で貸し付けることの報告を受けた。

全員協議会 3月17日

(1) 雪害の状況について報告

(2) 職員の公務中の事故について経過の報告

(3) 川西町地域振興拠点施設整備基本計画の策定について

(4) 第4次川西町環境基本計画の策定について
(5) 新型コロナウイルス

又感染症ワクチン接種について

(6) 置賜広域行政事務組合議会臨時会及び定例会の概要報告

(7) 置賜広域病院企業団議会定例会の概要について

全員協議会 3月25日

3月19日第1回定例会最終日において、地域振興拠点施設整備事業計画を含む令和3年度一般会計予算(案)を否決したことにより、地域振興拠点施設整備事業を再考し取り組んでいくことから、当初予算から取り下げた予算となる説明を受けた。3年度一般会計予算は臨時会を開催し再提案されることになる。



東沢 齋藤 寛 さん

広報モニターから ひとこと ⑧

町政発展の活躍に期待
平成6年に就農し、今年で28年目になりま
す。これまで資材などの高騰、米価の下落によって、さまざま苦労に直面してきました。近年では害虫や獣による被害も出ており、丹精込めて栽培した作物

が見るも無惨な姿となり、落胆してしまつことも多々ありました。昨年の大雨による水害では、沼が決壊し、稲がなぎ倒される甚大な被害となりました。その際、議員の方々は迅速な対応とさまざま提案を出していただいたことに感謝しています。
これから私は農業だけでなく、過疎化を阻止するべく次世代を担う若者が集える場を作り、地域を盛り上げていきたいと考えています。コロナ禍でも活動をしたいので支援を願うものであります。
最後に、議員の皆様が獲得された票数は町民の期待の表れであると思います。その票数の差はあっても、町民の思いを町政発展に結びつける活動がなされるよう期待しております。

審査員特別賞



エアコンが付いたことをきっかけに調べました(写真提供 山形新聞)

川西町立吉島立小学校の児童2組が第70回県統計グラフコンクールで審査員特別賞と入選に輝き、学校としても審査員特別学校賞を受賞した。昨年8月同校教室にエアコンが設置され、川西町の税金の使い道と、収入の内訳をポスターにまとめた。子どもたちが見る町の役割や税金の調査に、当町議会だより141号(9ページ)が役に立ったことは、大変ありがたく、議会広報誌の関心の高さを知ることができた。



「入選」暑い夏を比べてみたよ(写真提供 山形新聞)



「審査員特別賞」税金がどう使われたかわかったよ(写真提供 山形新聞)

議会だより活用で入賞
吉島小学校児童

表彰



かわにし議会だより141号

全国コンクール

みなさんと共に

11年連続
入賞

◆全国コンクール(応募総数311紙)
優良賞
第6位



審査員 講評

読み応えある構成

芳野 政明 委員長

地域での意見交換会から議会の政策提言へ、1年後に予算や行政への反映などを検証するサイクルが定着。団体との本誌座談会「シリーズ広聴」も継続。基本姿勢「町民参加で町を変える」の取り組みでの変化があります。年度予算の概要や目玉事業、委員会審査、一般質問など議事、各議会活動も的確に伝え、読み応えある構成です。

議会活動を伝える編集力が巧み

長岡 光弘 委員

政策を検証し評価を伝えた紙面、「町長に聞く」及び「予算審査」の紙面に掲載した意見情報等、議会の担う役割を積極的に伝えた編集力が、住民の記憶に残る紙面でしょう。また、住民広聴のコンテンツも充実し、審議状況とのコンテンツバランスがとれた紙面構成です。紙面を通して、様々な議会活動を伝える編集力が巧みです。

【地方議会人より引用】

チーム白猿



まどかカップマウンテンバイク大会

チーム白猿さんの活動は

マウンテンバイク

1スの開催運営が主ですが、内山沢遊歩道のコース整備と、近年は松くい虫やナラ枯れ被

今回は、チーム白猿メンバーの本間芳弘さんにインタビューしました。

がんばる川西

紹介 ⑦

害で倒木もあり、メンバーで維持管理などを行っております。

マウンテンバイクで里山宝探し

春は山菜取りを兼ねてサイクリング。夏はロングコースを設定し、米沢市の姥湯温泉や滑川温泉まで一泊ツーリングを行っています。

汗をかいて秘湯をめぐると湯上りビールは至福のひと時。秋には芋煮会を兼ねたレース、冬はスノーシュー（西洋かんじき）を着け里山探検など。四季にわたり、川西の里山を楽しんでいます。

議会だよりを

読んでいますか
読んでいます。
前号では、ある議

今後の活動は

員がふれあいの丘構想の内山沢整備について質問されましたね。我々にも関係のある質疑にワクワクしました。できれば、議場での質問だけでなく、レース会場に直接来ていただき、会場の雰囲気を感じていただければ嬉しいです。

昨年度はコロナ禍のためレースは控えたが来年度からは、GPSを利用した密にならないレースを企画しています。レース以外にもレンタルのマウンテンバイクでの体験試乗会もできますのでご連絡をお待ちしております。汗をかいて温泉そしてビールはいかがでしょう。か。(笑)

まちの未来が見える (3月定例会の傍聴者は3人)

議会傍聴においでください

どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です。
役場3階にお越し下さい)

次回定例会は6月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



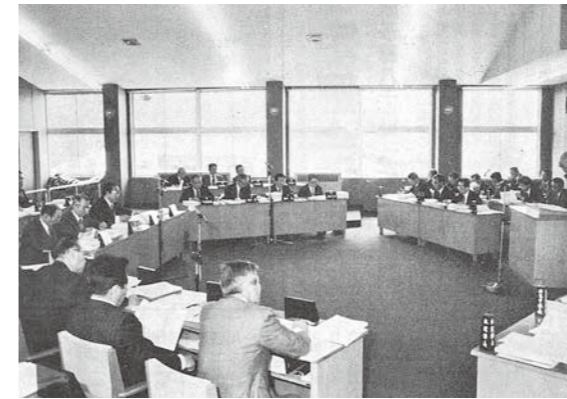
あれから…… どうなった!

昭和・平成・令和と三時代に渡って審議に使われた議場

新庁舎が5月6日に開庁する。現庁舎は昭和34年に建設され、平成・令和と三時代62年の歳月を重ねた。

そこで今回庁舎と共にあり、町の施策を審議してきた議場を追跡した。

議場



昭和60年4月議会だより創刊時の議場



平成16年中学生議会



町政60周年記念平成27年女性議会



新議場での審議に町の未来を託す

議場の使われ方

議場は本会議の他、全員協議会、委員会、分科会等に使われるが、町民表彰式等町の式典にも使用されている。

中学生議会

調べたところ、初の模擬議会として中学生議会が平成16年に開催されており、当時の議会だよりによると、22人の中学生議員が率直な意見を述べ、町当局も真剣に答えていたとある。

女性議会

また、平成27年には町制施行60周年記念事業として、女性議会が開催された。議会だよりには、「女性の視点でおらだのまちを考えろ」をテーマに女性議員15人が3委員会に所属し、一般質問を行うために委員会を開き当日に臨んだとある。どちらの議会も参加者は、大変良い経験をした。

審議の場

現議場はもうすぐ役目が終わり、新議場へとバトンが渡る。新議場になっても審議の場であることに変わりはない。住みよい町にするためにがんばっていかねばならない。

した。楽しかった。など前向きな感想が多かった。

町民の声

文化を継承し町の 魅力につなげてほしい

犬川地区にお住まいの齋藤美香さんに子育てや町に望むこととお聞きしました。

◆ プロフィール ◆

齋藤 美香(さいとう みか)

高畠町出身
夫、娘、父、母の5人家族
趣味 ポウリング

獅子舞に感動

私は高畠町出身で嫁いで3年になります。

川西町は高校生活3年間を過ごした慣れ親しんだ町でもあります。現在、夫の家族と同じ居しサポートを受けながら1歳の娘の子育てに奮闘中です。

川西町に来て初めて獅子舞を見たとき、その迫力や地域の方の熱量や団結力に驚かされました。

私が住んでいた所にはそういうものがなかったのですが、この文化を継承し、川西町の魅力につなげてほしいと思います。

安心して子育て

先日娘が夜中に体調を崩してしまいました。

子どもと遊べる施設がほしい

コロナ禍で新しい生活スタイルが求められ

近くの小児科にスマー トフォンで予約し、翌日比較的待ち時間も少なく、すぐ受診することができました。また、子どもの医療費が無料なので心配なことがあれば気兼ねなく受診できるので大変有難いですし、すごく安心です。

るようになりましたが、子どもと遊べる施設が少ないように感じます。これからは、子どもたちが楽しく遊べる室内施設や、川西町の自然をいかした公園などができればいいと思います。

これからも素晴らしい文化や自然を守り、よりよい川西町になるよう期待しています。



健やかに育ってほしい

編集のあとで

▼時間と対話を重ねた令和3年度予算議会▼
新年度がスタートし5月からは新庁舎へ▼現庁舎での広報編集にもたくさんの方の思い出がいつぱい▼第35回全国町村議会広報コンクールにおいて11年連続入賞の快挙。改めて編集委員、モニター、アドバイザーの皆様には感謝致します▼これからも一層努力し町民の皆様へ愛読して頂けるように編集作業にあたりたい。
(寿郎)

- | | |
|------------|-------|
| 発行責任者 | 鈴木 幸廣 |
| 委員長 | 伊藤 寿郎 |
| 副委員長 | 遠藤 明子 |
| 委員 | 橋本 欣一 |
| 同 | 伊藤 進 |
| 同 | 渡部 秀一 |
| 同 | 井上 晃一 |
| アドバイザー(文章) | 金子 勤 |
| 同 | 佐々木賢一 |
| 同 | 遠藤 勝則 |
| アドバイザー(写真) | 青木 督平 |
| 同 | 山田 順一 |